

よこて 社協だより

令和元年

67号

9月

- ❖ 会長あいさつ・新体制 …2
- ❖ 特集:令和元年度 赤い羽根共同募金 …3~5
- ❖ みんなの活動ひろば …6~7
- ❖ サロンde元気! …8
- ❖ 善意・ふくし作品コーナー …9
- ❖ ふくし掲示板 …10
- ❖ 横手市戦没者追悼式体験発表 …11
- ❖ 輝く地域のふくし・社協の事業所紹介 …12



父ちゃんの楽校と学童保育わんぱく交流会
～シジミの貝殻を使ったストラップづくり～
※みんなの活動ひろば(6P)に記事を掲載しています。



「寄付」のご一考を

横手市社会福祉協議会

会長 佐々木 義 広

「住みよさランキング」の公表で知られる「東洋経済新報社」が「世界一、寄付しない日本人が損していること」と題し次のような記事を載せております。(以下、網掛け部分がその内容の抜粋です。損の部分には投資との関連であり省きます)

日本人はアメリカ人に比べ、寄付をしません。日本人の寄付の金額は、年間で一人当たり約二千五百円だと言われております。一方、アメリカ人の年間平均は、十三万五千円です。毎月一万円以上寄付していることになり。富裕層による大口寄付も含めての数字ですが、寄付した世帯は全米の九五・四%にも上っています。地域社会を一から作り上げた開拓者たちの「自分のことは自分でやる」という自主独立の精神が受け継がれているものと思われ、寄付に熱心な理由はこのあたりにあるのではないかと。

感があつて、心理的につながってれば、一万円札は寄付先に移動しただけで、「減っていない」ととらえることもできるはず。ところが「自分のお金が無くなつた」と考えてしまう。寄付よりも「とにかく貯蓄が大事」と現金を抱えているのが日本人の気質なのです。

世界的に見ても「日本人は公共心がない」と公表されております。社会に貢献しようという意識が薄いと評価されてもしかたありません。私たちが日本人が寄付に積極的でないのは「寄付はしても何に使われているのかわからない」という考えもあるからだと思います。しかし、一般的な寄付とは異なるものの、東日本大震災には全国で四千四百億円に上る義援金があつたと報じられております。高校野球で甲子園に出場するチームには億単位の寄付が集まると言われます。悲喜共有の典型でしょう。活動目的がはっきりしている団体、身近な団体には、それなりの理解と支援がなされているものと推測されます。

本会「社会福祉協議会」には、運営する特別養護老人ホームをはじめ、見守り活動、いきいきサロン、災害への備え等に役立ててほしいと多くの方々からの善意が寄せられており、大変ありがたく感謝しております。しかし、横手市の規模からすればまだまだこの感も否めないところ。本会に限らず、どう先、どう形でもよろしいでしょうか。それぞれに寄付を考え、広め、すすめていけばよりよい社会につながると思っています。

私たちが日本人が寄付に積極的でないのは「寄付はしても何に使われているのかわからない」という考えもあるからだと思います。しかし、一般的な寄付とは異なるものの、東日本大震災には全国で四千四百億円に上る義援金があつたと報じられております。高校野球で甲子園に出場するチームには億単位の寄付が集まると言われます。悲喜共有の典型でしょう。活動目的がはっきりしている団体、身近な団体には、それなりの理解と支援がなされているものと推測されます。

身近な事例ですが、私の入会している地元の老人クラブで個人でスマイルボウリングを二セット購入し、練習やゲームに提供している方がおります。集落のセンターで年間を通して多くの皆さんが楽しんでおり、本当にありがたく喜んでおります。ご本人は「みんなが楽しく、そして自分も楽しめれば」と話しており、まさに喜びの共有なのです。

「寄付はしても何に使われているのかわからない」という考えもあるからだと思います。しかし、一般的な寄付とは異なるものの、東日本大震災には全国で四千四百億円に上る義援金があつたと報じられております。高校野球で甲子園に出場するチームには億単位の寄付が集まると言われます。悲喜共有の典型でしょう。活動目的がはっきりしている団体、身近な団体には、それなりの理解と支援がなされているものと推測されます。

とは言い、寄付どころではない。日々の生活、老後のことで手一杯、という方も多いと思います。でも、そのほどの事は無く一定の余裕のある方もいるはず。支えあい、助けあいというのは、そういう事情の異なる方々が、お互い手を差し伸べたり、世話になったりすることでもあり、そのためには非「寄付」ということに目を向けていただければ幸いです。

横手市社会福祉協議会 新体制

本会役員の改選が行われ、新体制となりました

理事・監事

任期 令和元年6月25日、令和3年6月に開催する定時評議員会の終結の時まで

評議員

任期 平成29年4月1日、令和3年6月に開催する定時評議員会の終結の時まで

会長	佐々木 義 広(大雄)
副会長	多賀糸 敏 雄(横手)
常務理事	守屋 桑 悦(大森)
理事	小野 タツ子(平鹿)
理事	佐藤 正 弘(横手)
理事	近 江 千鶴子(横手)
理事	齊 藤 純 子(横手)
理事	石 藤 正 増(増田)
理事	武 藤 吉 克(平鹿)
理事	小 野 重 春(横手)
理事	柴 田 清 治(横手)
理事	佐 藤 順 郎(横手)
理事	高 橋 順 守(山内)
理事	渡 部 勝 勝(山内)
監事	堀 江 光 雄(横手)
監事	佐々木 隆 美(平鹿)
監事	佐々木 忠(大森)
菅 原 多一郎(横手)	菅 原 多一郎(横手)
谷 川 都子(横手)	谷 川 都子(横手)
滝 井 亮一(横手)	滝 井 亮一(横手)
松 井 亮一(横手)	松 井 亮一(横手)
渡 邊 健一(横手)	渡 邊 健一(横手)
天 童 順子(横手)	天 童 順子(横手)
石 川 久仁子(横手)	石 川 久仁子(横手)
片 倉 由美子(横手)	片 倉 由美子(横手)
佐 藤 芳 知(平鹿)	佐 藤 芳 知(平鹿)
大 和 道 子(平鹿)	大 和 道 子(平鹿)
田 代 繁 人(平鹿)	田 代 繁 人(平鹿)
佐 々 木 繁 人(平鹿)	佐 々 木 繁 人(平鹿)
小 西 隆 介(横手)	小 西 隆 介(横手)
東 海 林 隆 介(横手)	東 海 林 隆 介(横手)
岡 固 毅(横手)	岡 固 毅(横手)
大 沼 力子(大森)	大 沼 力子(大森)
高 村 正 友(大森)	高 村 正 友(大森)
近 垣 成 一(横手)	近 垣 成 一(横手)
石 藤 節 子(横手)	石 藤 節 子(横手)
佐 藤 克 己(横手)	佐 藤 克 己(横手)
加 藤 ヨウ子(横手)	加 藤 ヨウ子(横手)
石 藤 達 雄(山内)	石 藤 達 雄(山内)
高 橋 秀 夫(山内)	高 橋 秀 夫(山内)
藤 橋 弘 夫(山内)	藤 橋 弘 夫(山内)
高 橋 吉 之(大森)	高 橋 吉 之(大森)
永 瀬 弘 之(大森)	永 瀬 弘 之(大森)
菅 原 廣(大雄)	菅 原 廣(大雄)

令和へと 受け継ぎ つながる赤い羽根 令和元年度 赤い羽根共同募金運動

今年も10月1日より「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉にスタートします。地域のたすけあい活動に皆様のご協力をお願い申し上げます。

運動期間 令和元年 10月1日～12月31日

募金の種類

各ご家庭からの戸別募金、イベント会場でのイベント募金、スーパー店頭などでの街頭募金、企業からの法人募金、職場や学校からの職域・学校募金など

※今年度の募金の使いみちなどは、横手市共同募金委員会発行の「よこて赤い羽根だより」でご確認ください。

参加企業と企画・商品	企画名	商品・募金内容
(株)アートピアササキ	誰かのためになる看板	イベント等で使用する立・横看板や横断幕で1㎡につき1円を寄付
秋田ゼロックス(株) 横手営業所	DocuWorks 募金	「Docu Works」のライセンス販売実績1件につき100円を寄付
(有)新山食品加工場	～発酵のまち横手市から～ こだわりの「甘酒」	「あめこうじ」と水だけで作った「甘酒」1個につき1円を寄付
(医)興生会 就労支援センターグリーン	カフェラテ募金	ふれあい喫茶「くつろぎ」のカフェラテ1杯につき10円を寄付
(有)トータルホケン いでは	「いでは」に加入すると横手市がよくなる自動車保険	自動車保険の新規または更新加入1件につき10円を寄付
(有)樹	「樹」から足袋であったか募金	きねや足袋「百合」1足につき100円を寄付
(有)オレンジフード	こころもあつたか ナポリタン募金	「天々」のナポリタン1皿につき5円を寄付
白洋舎クリーニング	羽毛布団で心も体もあつたか募金	羽毛布団のクリーニング1枚につき100円を寄付
レ・メール秋田(有)	レ・メール メルメルで良く聞こえる補聴器、レ・メール メルメルで良く見えるメガネ	補聴器やシール貼付商品売上額の1.8%を寄付
優勝軒横手店	地域に元気と活力届ける ラーメン募金	麺類1杯につき1円を寄付
(株)松興会館	レディース会席	レディース会席お一人様ご利用につき10円を寄付
(有)柏谷印刷	幸せ「うつす」印刷募金	各種封筒や各機関広報誌売上額の1%を寄付

令和元年9月1日現在



年間を通じた募金活動もあります！

募金百貨店プロジェクト

「募金百貨店プロジェクト」とは、企業が寄付つき商品や企画を創り、その売り上げの一部を募金としてご協力いただくものです。商品の購入者は負担なく募金活動に参加でき、企業は社会貢献につながり、その募金は地域の福祉につながるという三方よし。の取り組みです。



参加企業募集中!

地域を良くするためのプロジェクトへの参加企業を募集しています。その他、寄付つき自動販売機や通年設置用募金箱もありますので、詳しくは横手市共同募金委員会事務局（横手市社会福祉協議会内 電話 36-5377）にお問い合わせください。

社会福祉協議会が行う福祉のまちづくりに向けた活動

地域住民やボランティアなどが主体となった交流の場づくり



6,991,125円

いざいサロン事業

サロン活動助成金(通年)：136サロン×上限6万円、お試し：6サロン×上限5千円)、サロン世話人会議や研修会開催経費など

ふろっこカフェ事業

会場使用料、イベント等講師謝礼、参加者お茶菓子代など

83,000円



地域福祉の担い手育成を目的とした福祉教育の取り組み

福祉出前事業

疑似体験用アイマスク等購入費

3,000円



市内の福祉活動のほか、他市町村の募金と合わせて県内の広域的な地域福祉活動や課題解決に向けたプロジェクト、また災害時の見舞金や支援金として使わせていただきます。

976,000円



船沼除雪支援ボランティア組織

高齢者世帯等を対象とした除雪活動で使用する除雪機のリース代、燃料費など

40,000円

平鹿町ボランティア湧水会

単身高齢者や高齢者福祉施設入居者へハガキを送る活動のハガキ代

30,000円

NPOの会

子どもたちの食育を目的とした料理教室の食材料費、会場使用料など

50,000円

六星会

点字広報紙等を作成するための点訳用パソコン・ソフトの購入費など

50,000円

横手ふるさと語りの会

学校等での昔語りやイベントを行うためのパンフレット作成費、会場使用料など

50,000円

おはなしぼほポ

学校や図書館などでの読み聞かせで使用する大型絵本の購入費

50,000円

傾聴ボランティアあすなる

傾聴サロンを開催するための参加者茶菓子代、スタッフ用Tシャツ購入費など

40,000円

おめでとうございます

令和元年度 赤い羽根共同募金運動キャッチコピー

秋田県共同募金会主催のキャッチコピー募集において、応募総数1,015点の中から市内中学生の作品が入選しました。

その思い かならずだれかに とどくはず
石田 雄蒼 さん(増田中学校1年)

優秀賞

令和へと受け継ぎ つながる赤い羽根



赤い羽根共同募金

募金の使いみち

昨年度寄せられた募金は市内の福祉団体や社会福祉協議会に配分され、今年度実施する福祉活動の活動費として次のとおり使わせていただいています。

福祉団体などが行う福祉活動を応援するために

福祉活動応援事業に申請し、審査によって配分が決定した団体・活動



よこて園芸療法の会 庭じかん

障がい者や高齢者を対象とした園芸・クラフト活動の材料費など

50,000円

今年五月に「かえっこバザール」を開催した横手おやこ劇場さんより、寄付者の皆様へ「ありがとうメッセージ」が届きました。今回で七回目の開催でしたが、募金のおかげで外部講師を四名迎えることができ、楽しいワークショップの場を創り出すことができました。この取り組みは、子どもたちが地域社会の中で人と関わったり、何かを作ることを楽しんだり、仕事をしたりと色々な可能性を秘めたイベントであり、今後も続けていきたいと思っております。この度はありがとうございました。



赤い羽根の募金は 私たちの 地域のために使われています

平成30年度も多くの皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。昨年度の募金実績や市内での使いみちについてご紹介いたします。

募金実績

平成30年度 赤い羽根共同募金実績

(平成30年4月～平成31年1月までの実績)

※2～3月に寄せられた募金は、翌年度実績となります。

横手市内の募金実績 14,436,125円

- 募金運動実績(戸別・街頭募金実績など) 14,185,983円
- 寄付つき自動販売機実績(6台設置) 48,481円
- 募金百貨店プロジェクト実績(6企業…(株)松與会館、(有)柏谷印刷、(有)新山食品加工場、(医)興生会 就労支援センターグリーン、優勝軒横手店、秋田ゼロックス(株)横手営業所) 140,247円
- 平成30年2～3月の募金実績 56,414円
- その他の募金実績 5,000円

アンサンブルの会

高齢者福祉施設等での交流活動を行うための用具代、歌詞カード印刷代など

10,000円

アンサンブル・レベラ

チャリティコンサートで使用する楽譜・譜面台用ライトの購入費など

50,000円

横手おやこ劇場

子どもたちの体験・遊びの場「かえっこバザール」の材料費や講師謝礼など

30,000円



“さんない生活支えあいたい”情報提供活動
地域の移動手段を考える

7.11 日 / 山内 李原会館

小松川いきいきサロンで移動手段に関する説明会を行いました。市職員によるデマンド交通利用方法などの説明を聞き、地域で利用できる移動手段などを考えていただく機会になりました。



鹿嶋送り

福祉協力員会地域福祉活動応援事業

7.7 日 / 大森町末野地区

成人男子が鹿嶋様を作り替え、夕方には子どもたちが家々を練り歩くなど、伝統行事が住民同士の交流の機会になっています。昨年度からはサロン活動も始まり、地域内の絆が益々深まっています。



ふれあいサロン事業

みんなで交流しながら健康づくり

6.28 日 / 十文字西地区交流センター

西地区交流センター主催の「ふれあいサロン事業」で、当会職員が脳トレ体操を行いました。他にも簡単なゲームなどを住民同士ふれあいながら行うことで、笑いのたえない楽しい会となりました。



父の日の楽しみ会

苑の父たちへ ありがとう

6.15 日 / 平寿苑

平寿苑のまごころユニットにおいて期間限定の“居酒屋 まごころ”を開店しました。お酒に手作りおつまみ、美人？女将さんの軽快なトークもあり、皆さん楽しい一時を過ごしました。



みんなの活動ひろば

横手北中学校の生徒2名が来所し、職場体験を行いました。介助のお手伝いやご利用者と笑顔でコミュニケーションを図りながら、積極的な声掛けや細やかな気遣いなどの大切さを学びました。

デイサービスで職場体験
めんこい中学生にご利用者の笑顔も満開

8.19 日～20 日 / 康寿館



全県から会員や関係者など約400名が来場され、手をつなぐ育成会秋田県大会が開催されました。式典やアトラクションのほか、障害者差別解消の取組の進め方をテーマとしたシンポジウムが行われました。

第61回手をつなぐ育成会秋田県大会(横手大会)
差別のない本当の共生社会を目指して

8.4 日 / 横手セントラルホテル



連日暑い日が続く中、涼しさを感じてもらえるよう“流しそうめん”を開催しました。ご利用者は流れてくる麺を逃がすまいと真剣に待ち構えて上手にすくい上げ、夏の風物詩を楽しみました。

流しそうめん
夏の風物詩

7.31 日 / 憩寿園



父ちゃんの楽校が、工作やマジックショーで学童保育の子どもたちと交流しました。マジックショーでは、子どもたちからの鋭い指摘がありましたが、手に汗握るネタもあり、笑い歓声に包まれました。

父ちゃんの楽校と学童保育わんぱくの交流会
世代間交流

7.29 日 / 学童保育わんぱく



善意

ありがとうございました 令和元年6月1日～令和元年8月15日受付分

寄付金や物品などをお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。また、寄付金額や物品名は、承諾をいただいた方のみ掲載しています。*順不同

寄付金 など

- ◆小西 任巳 様 (雄物川・今宿上第一)
- ◆佐々木範男 様 (大森・昼川)
- ◆文美の会 様
- ◆すえひろ歯科医院 様

物 品 など

- ◆熊谷 雅子 様 (横手・石町) 〈花〉
- ◆油谷 敏和 様 (平鹿・高野) 〈おむつ他〉
- ◆雄物川町美容組合 様 〈BOXティッシュ〉
- ◆JA秋田ふるさと 女性部大雄支部 様 〈タオル〉
- ◆神原 實 様 (十文字・西上)

ボランティア・協力団体など

- ◆鈴木 了子 様 (横手・上内町)
- ◆三梨 敦子 様 (横手・南町)
- ◆安藤 詔子 様 (横手・上真山)
- ◆鈴木由紀子 様 (平鹿・浅舞)
- ◆たかはらてるお 様

- ◆とっぴんぱらりのプー 様
- ◆朝友会 様
- ◆大森コーラス落 様
- ◆艶歌嘉舞義会 様
- ◆玉川遠州流前田社中 様
- ◆新日本舞踊扇佳流優仙会 様
- ◆かざぐるま 様
- ◆横手歌謡会 様
- ◆梅雄三玄会 様
- ◆混声合唱団横手フィオレンテ 様
- ◆雄物川地域 老人クラブ連合会 様
- ◆北東北民謡津軽三味線 黒澤会 様
- ◆アンダンテの会 様
- ◆雄物川高校 様
- ◆大雄環境保全隊 様
- ◆横手囃子保存会 平城支部 様
- ◆コーラス・アイリス 様
- ◆傾聴ボランティアささやき 様
- ◆スーパーモールラッキー 様
- ◆おはなしぼぽポ 様
- ◆朗読ボランティアぬくもり 様
- ◆増田高校 様
- ◆JA秋田ふるさと青年部 様
- ◆伊藤畜産 様
- ◆和泉青果 様
- ◆館商店 様
- ◆フラサークル マナマナ&カプア 様
- ◆十文字民生児童委員 協議会 様
- ◆おはなし大すきの会 様
- ◆民謡と歌謡 高吉会 様
- ◆横手市勤労者互助会 女性部 様
- ◆傾聴ボランティア 「ひまわり」 様
- ◆よこて市商工会女性部 雄物川地区 様



JA秋田ふるさと女性部大雄支部様よりタオルを寄贈いただきました

サロンので元気!

横手 新北 いきいきサロン



「家でテレビを見ているよりも、サロンに来てみるほうが楽しい」との声があるように、果物などを食べながら一緒に季節を感じたり、移動販売車での買い物を楽しんだり、とてもにぎやかです。平成十三年四月から始まり、現在は十名ほどで開催しています。最近参加した若い方々からの気遣いや応援を頂きながら、健康にサロンを続けていきたいと思っています。

平鹿 豊前 いきいきサロン



家に閉じこもりがちな方へ世話が積極的の声掛けをするなど、たくさんの方に参加してもらえよう努めています。普段は語らいや会館前の花壇の花植え、農作業などを行っていますが、今回は高校生などが聞き書きボランティアで来所してくれました。小規模ではありますが昔からのつながりで家族のようなゆつたりした雰囲気で行われ、参加者は毎回楽しみにしています。

雄物川 旭町 いきいきサロン



芋の子会などの季節を感じられる行事や参加者が開催を心待ちにするような内容を取り入れて活動しています。また毎年社協職員による講話などを実施し、みんなで地域のことを考える機会を作り、絆を深め合っています。開始から十二年目となりますが、これからも「無理なく・楽しく・長く」をモットーに、参加者全員でいきいきサロンを輝かせ続けていきたいです。

あなたの～わたしの～

ふくし作品コーナー

次号 (十二月発行予定) テーマ「健康」

●作品種類 絵、工作、手芸、写真、川柳、標語など

●応募方法 作品と作品への思いや説明、氏名(ペンネーム可)、連絡先(電話番号やメールアドレスなど)を記入して、FAXやハガキ、e-mailで応募ください。 ※絵や工作、手芸などは写真データで応募ください。

●応募先 横手市社会福祉協議会

〒013-0007

秋田県横手市御町5-10

FAX: 0182-36153000

e-mail: tiki@yokote-shakyo.jp

締切日 令和元年十月三十一日(木)

身近にあるたくさんの方の福祉作品のご応募をお待ちしています

テーマ 支えあい

ご応募いただいた作品の中から、川柳をご紹介します。

祖父母にはいつも合わせて 秋田弁

ペンネーム 木村わかめさん / 増田

今の子どもたちや若い人たちは学校や職場で秋田弁を話す機会が少なくなり、皆さんきれいな標準語で喋ります。なんとも言えない優しくやわらかい「方言」は気持ちが悪みです。わが家の孫たちは私に合わせて秋田弁で話してくれるので幸せに思っています。

支え合う 先に咲きたる 笑みの花

淡路 鉄 夫さん / 横手

支えられて思わず生まれる笑みは感謝の気持ちそのもの。傍から見て、それは美しい花を見るようです。

の各福祉センターまたは本部地域福祉課 ☎36-5377 まで

学びや横手(無料学習支援)の生徒募集

様々な理由で学校や塾などに行くことができないけれども、将来に向けて自主的に勉強したい児童生徒を募集しています。

◆支援内容/授業や勉強でわからなかったところを質問形式のマンツーマンで教えてくれます。

◆日時/毎週土曜日の午後4時～午後6時

◆会場/横手市中央公民館(横手市女性センター)

◆対象者/小学1年生から高校3年生まで

◆参加費/無料

◆その他/利用には事前の申し込みが必要です。

◆問い合わせ/本部地域福祉課 ☎36-5377

令和元年度 横手市 社会福祉大会の開催

地域の福祉に関する意識の高揚を図るために、横手市社会福祉大会を開催いたします。

◆日時/10月24日(木)

午後1時～午後4時

◆会場/秋田ふるさと村・ドーム劇場

◆内容/式典(表彰、大会宣言)、アトラクション、福祉活動実践発表、講演など

◆どなたでも参加できます。(入場無料)

フードドライブへのご協力をお願いします

生活困窮世帯などに食品をお届けするフードドライブ事業を実施しています。消費期限が1か月以上先の常温で保存できる食品がご自宅にありましたら、是非お寄せください。

◆受付・問い合わせ/最寄り

相談所のお知らせ 9~11月

●無料法律相談所【予約受付:平鹿福祉センター ☎24-3283】

※3日前までに要予約。一人30分まで

- ▶9月18日(水) 10:00~12:00 大森コミュニティセンター
- ▶9月30日(月) 10:00~12:00 平鹿町ゆとり館
- ▶10月9日(水) 13:00~15:00 Y²ぶらざ
- ▶10月16日(水) 13:30~15:30 十文字町健康福祉センター
- ▶10月28日(月) 10:00~12:00 大雄地域福祉センター
- ▶11月6日(水) 13:00~15:00 Y²ぶらざ
- ▶11月15日(金) 10:00~12:00 増田地域局
- ▶11月22日(金) 10:00~12:00 雄物川在宅介護支援センター

●無料税務相談所【問合せ:横手福祉センター ☎33-8668】※予約不要

▶10月10日(木)、11月14日(木) 9:30~12:00 Y²ぶらざ 3階

声の広報・点字広報の利用者募集

市報や議会だより、社協だよりを録音や点字冊子にした“声の広報”または“点字広報”の利用者を随時募集しています。

声の広報は、プレクストークまたはCDを自宅へ郵送します。点字広報は社協職員が自宅へ直接お届けします。

◆対象者/視覚に障がいのある方など

◆作成ボランティア/声の広報:朗読ボランティア「まんさく」の会、点字広報:六星会

◆問い合わせ/横手福祉センター ☎33-8668

ふらっとカフェの開催

何かお話しがしたい方や会場の近くまで来た方など、ふら~っと気軽に立ち寄って誰でもフラットに語り合える場を開催しています。

◆期日/①9月26日(木)、②10月21日(月)

◆時間/午前10時~午後1時

◆会場/①さかえ館(栄公民館)、②横手市交流センター Y²ぶらざ 1階 オープンスペース

◆内容/語り、催しなど

◆参加費/無料

◆その他/どなたでも参加できるので、都合のつく時間に自由にお越しください。

◆問い合わせ/本部地域福祉課 ☎36-5377

七月に横手市が主催した「横手市戦没者追悼式」において、横手市遺族連合会増田支部の佐藤勝行さん(増田)が戦後の体験談を発表しました。令和という新しい時代を迎え、未永い平和が続くよう祈念して紹介します。



戦後の母、私の生い立ち

佐藤 勝行

私は昭和二十年三月生まれです。終戦間近ですので戦時中の状況は分かっておりません。戦後の幼少期、母親の苦勞と厳しい生活が断片的に記憶に残っている程度です。父は私が生まれる前に出兵し、私が生まれていたことも知らずに戦死しました。私は父親の顔すら覚えておらず、終戦後、母の女手ひとつで育てられました。

令和元年五月、母は私と妻に看取られ、眠るように息をひきとり百歳の生涯を終えました。納骨を済ませ、母の部屋を整理していたところ、たんすの奥から切れかけの封筒が目に入り、開けてみると中に一枚の便箋が入っていました。それは、秋田県世話部長からの差出で、父の戦死証明書でした。内容は「騎兵第四十七部隊 陸軍

上等兵 昭和二十年十月十三日 時刻不詳、中華民国山東省官橋において、マラリヤ罹患により、戦病死したることを証明す」と書かれておりました。渡された後、母は人目にふれぬよう大事に保管していたと思われま。生前、母から父の遺骨は帰らなかったと聞いておりま。戦後、ひたすら父の帰りを待ち続けた母に届いたのはこの紙切れ一枚だけだったようです。当時、夫を亡くした母の心情を察しますと、どれだけショックだったか計り知れませ。あま

りにも理不尽なこの大戦の結果をこの紙切れ一枚で済ませた戦争とは何であったか、私には疑問と憤りを覚える思いです。私の記憶では小学生の昭和二十七年頃から、高校卒業までの約十

二年間、増田町の母子寮に入り暮らしていました。その名の通り私と同じ境遇で父親がいなく、母と子どもだけの家庭で四畳半一部屋二十世帯ほどで暮らしておりました。

ほとんどの母親は朝から仕事に出かけ、夕方に帰って来るまで、日中は寮母さんと一人の職員が幼い子どもたちの世話をしてくれました。寮に入っているどの子どもたちも家族同様の生活でした。

その当時、母は暮らしを支えるため、行商をしておりました。朝早く仕入先に出かけ、重たい荷物を背負い毎日、気が遠くなるような長い道のりを歩き、一軒、一軒訪ね売っていたと記憶しております。さらにその当時は舗装された道路はほとんどなく、その苦勞は計り知れないものでした。苦勞した割には売り上げは少なく、仕入金を払うと生活していくのにやっとの毎日だったと思われま。

今でも思い出すのは、母子寮近くの小さな駄菓子店です。私は母からお小遣いをもらったことはなく、母は毎日、行商へ行く前におやつを買い、学校帰りに私に渡すように店の人に頼んでいたようです。今思えば厳しさがありませんが母のやさしい一面があったように思われま。

戦争で早くから夫を亡くし、つらい時期もあったと思います。楽しみも少なくひたすら私を育てあげたため、厳しい時代を生き抜いた人生だったと思われま。

母は、大正・昭和・平成そして令和と生き抜いて百歳の長寿を全うしました。母の晩年は、私と妻との長期間の介護生活でもありました。特に二年前から寝たきりとなり、大変な時期もありましたが、母の苦勞に報い、少しは親孝行出来たかと思われま。

父を戦争で亡くし、戦後の母親の苦勞を見て今思うことは、戦争は起こしてはなりません。理由はどうあれ許されるものではありません。何の関係も無い人を巻き添えにし、多数の犠牲者を出します。そして、残された家族の将来も不幸に落とし入れま。

今後、私たち遺族会員の年齢もますます高齢化し、会員の減少はまぬがれませ。これからも再び過ちを繰り返すことがないよう戦争の悲惨さを訴え続け、風化させないためにも子、孫たちの後世に伝えることが私たち会員の責務であると思われま。

社会福祉協議会では、横手市遺族連合会及び各支部の事務局を担っています。

輝く地域のふくし

つどいの和 りんりん (輪輪)

横手福寿会りんごの里福寿園では、今年の4月から増田町老人憩いの家において、心身の健康づくりや生きがいづくり等を目的に、運動や仲間との団らん等を行う集いの場「つどいの和 りんりん」を毎週木曜日に開催しています。

現在は、昨年度までミニデイサービスを利用していた方が主に参加していますが、参加者が友達などを誘い合うことで、少しずつ新しい方も増えてきています。

普段は、お茶を飲みながらの雑談や近くのお店への買い物、憩いの家のお風呂に入った



作業療法士による脳トレ体操の様子

りしていますが、健康体操や折り紙、脳トレゲームなども行っています。時にはトランプや花札で皆さん大いに盛り上がっています。また法人としてリハビリ専門職員や歯科衛生士などを派遣し、参加者の健康づくりや介護予防などにつながるよう努めています。

「りんりん行くべ」と地域の方々が気軽に立ち寄れる場になるよう、これからも地域の居場所を支えていきたいと思えます。

社協の事業所紹介

オラほのいいところ

康寿館指定通所介護事業所 (デイサービスセンター)

康寿館の1日の流れ

8:00~	ご自宅までお迎え
9:30~	健康チェック
10:00~	入浴タイム
11:30~	口腔体操 (ご飯を美味しく食べて頂くためです。)
12:00~	昼食タイム
13:00~	お昼寝の時間
14:15~	歌・体操・運動 レクリエーション
15:30~	お茶の時間・水分補給
16:45~	ご自宅までお送り

見学を希望される方はいつでも受付しておりますので「一度、見に来てたんしゃ。」



“人材育成に取り組み働きやすい事業所”として認証されました

みんな明るく元気で笑顔の絶えない
デイサービスセンターです

当デイサービスセンターでは、年間十八団体のボランティアにお越しいただき、「歌謡ショー・舞踊・楽器演奏」などを披露していただいております。ご利用者からも「いつ来るのか待ち遠しい」と大変好評で、一緒に歌ったり踊ったりと楽しい時間を過ごされております。

昼食は、数品あるおかずの中の一品をご利用者を選んでいただく「選択メニュー」を取り入れたり、ひな祭りや敬老会、クリスマスなどその時期の行事に合わせた特別メニューも提供させていただいております。また、事業所敷地内にある農園から収穫した野菜を使っているメニューもあり、皆様に大変喜ばれております。

当デイサービスセンターの

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

■横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072
大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858

山内福祉センター TEL.53-3009
大雄福祉センター TEL.52-3311
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011

(市外局番 0182)
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510
横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail honbu@yokote-shakyo.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

横手市社協

検索